

ロードレース開幕戦  
プロの走りを届ける



2月22日、県立大隅広域公園周辺特設コースで「第3回JBCF鹿屋・肝付ロードレース」が開催されました。これは、国内最高峰ロードレースシリーズの開幕戦として行われたもので、全国から17チーム108人が出場。本市拠点のプロサイクリングチーム「CIEL BLEU KANOYA」は、地元から多くの声援を受けて力走し、プロの迫力ある走りや熱い戦いを見せてくれました。

おすすめ地域の  
活性化に貢献



2月27日、大隅地域振興局で「おおすみの地域力表彰表彰式」が行われ、本市からは鹿屋農業高校、プロ女子ソフトボールチームMORI ALL WAVE KANOYA、プロサイクリングチームCIEL BLEU KANOYAの3団体が受賞しました。日頃の学校活動が評価された鹿屋農高2年生の永楽悠月生徒会長は「先輩たちからの積み重ねが評価され大変うれしい」と受賞の喜びを話してくれました。

年に一度の意地の  
ぶつかり合い



2月16日、中津神社（上高隈町）で「鉤引き祭」が開催されました。これは、元禄元年（1688年）に五穀豊穡・林業発展等を祈願する祭りとして始まった、雄木と雌木の神木を絡ませ引き合う伝統行事で、市の無形民俗文化財に指定されています。今年は2勝先勝で大黒町内会が高隈町内会に勝利し、多くの人が激しく大木を引き合う姿に魅了されていました。



かのやのホットな話題をお届け！

市民になって社会  
の仕組みを学ぶ



2月22日、鹿屋女子高校で「第9回キッズビジネスタウン。」が開催されました。これは、小学生を対象に労働や納税の体験を通して社会の仕組みを学ぶ場を作ろうと毎年開催しているもので、今回は約350組の児童と保護者が参加。当日は美容や医療、消防や警察など様々なブースが設置され、子どもたちは慣れない仕事に戸惑いながらも責任感を持って一生懸命取り組んでいました。

社会人野球チーム  
が野球教室



2月22日～3月9日、県内8市の会場で「薩摩おیدنリーグ2025」が開催されました。これは、大学・社会人・プロを交えた硬式野球リーグ大会で、54チームが全117試合を実施。本市ではMORIオールウェーブスタジアム（平和公園野球場）などで6試合が行われ、23日には地元高校プラスバンドが応援するHonda対パナソニックのピックアップゲームや野球教室が行われました。

元サッカー選手が  
小学生に熱い授業



2月19日、元プロサッカー選手の紀氏隆秀氏が鹿屋小学校で派遣授業を実施しました。これは、アスリートを体育の先生として派遣するスポーツ庁の「アスリーチ」事業の一環として行われたもの。当日、子どもたちはグループを作りミニゲームで勝敗を競いました。同氏は夢を叶えた自らの半生を語り、「夢をもって努力すること」や「チームの勝利にこだわる」大切さについて教えました。

県指定文化財  
山宮神社春祭



2月16日、山宮神社（串良町細山田）で「山宮神社春祭」が行われました。これは、約450年の歴史を持つ伝統行事で、県の無形民俗文化財に指定されています。祭りでは堂園、馬掛集落による棒踊り「正月踊り」や2本の木を絡ませ引き合う「鉤引き」、太郎と次郎に扮した人が木製の牛を使ってユーモラスに田をならす「田打ち」が奉納され、参加者は一年間の豊作を願いました。



「お肉はやっぱりおいしい」  
子どもの声が響く

JA肝付吾平町から吾平学校給食センターへ、地元牛肉のPRや地産地消の取り組み推進のため、鹿児島黒牛が提供されました。配送区域の4校へ、2月21日には焼肉丼として、25日にはきんぴらごぼうとして子どもたちへ届けられました。



空き家について  
専門家による解説

2月23日、市役所で「空き家に関するセミナー及び無料個別相談会」が開催されました。当日は、適正に管理されていない空き家に生じ得る問題について弁護士による解説や、専門家による相談会が行われました。



地域福祉関係者の  
相互交流を図る

2月22日、輝北ふれあいセンターで「輝北福祉ふれあいフェスタ」が開催されました。当日は第1部で「劇団南の星座」による演劇が行われたほか、第2部では演芸大会が行われマーチングやダンスが披露されるなど、会場は盛り上がりました。



レスリング  
全国大会で優勝

2月19日、1月に開催された「第29回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」で見事優勝を果たした野口姫さん（西原小5年）が市役所を訪れました。野口さんは「3年生時以来の全国優勝でうれしい」と喜びを報告しました。



子どもの学びのため  
連携・協働を図る

2月18日、リナシティかのやで「鹿屋寺子屋シンポジウム」が行われました。これは、子どもの学習活動の支援や地域との交流を図る「鹿屋寺子屋事業」の報告会。当日は活動発表や講演等が実施され、同事業に関する情報共有が行われました。



鹿屋農業高校の和牛が  
枝肉部門で最優秀賞

2月17日、鹿屋農業高校の鹿児島黒牛研究部と関係者が市役所を訪れました。同部は、1月に開催された「第8回和牛甲子園」の枝肉評価部門で最優秀賞を獲得。同大会において過去最多となる3回目の最優秀賞を受賞しました。